

第2回移動プロジェクト記録

2025.12.25 実施 2026.1.5 作成

参加者：別紙参照

1. 2025年度実施した移動アンケートの報告(百草団地・愛宕エリア・和田地区)(別紙参照)



第1回PJ以降に行ったアンケート調査について、各エリアの特徴を共有しながら結果の概要を報告。

2. 住民団体との協議に向けて意見交換

- ・(愛宕)今回エレベーターがある団地での調査となつたが、エレベーターがない団地に関しては、足腰弱くなると階段上り下りができなくなり買い物が困難となる。まずは身体能力が大事。これは自治会にきちんと伝えたい。
- ・(百草団地)住民の声を聞いても、バス停 ⇄ 玄関(団地内移動)が大変。
- ・(百草団地)介護や福祉の駐車場の自由度が他に比べて低く、提供しにくいと感じる。短時間でも停車できるようにならないかと感じる。
- ・(百草団地)ナンバー登録すると、5000+税/年で、URで借りることができる。自治会でも手間はあるが借りることはできる。(使い勝手が悪い?)
 - ➡コインパーキングがほしい URにも可能性があるのか聞いてみる
- ・(百草団地)学生によってバスが混雑しており、時間を選ばないと乗車できない。
- ・(百草団地)駅からのバス乗車だと一般優先するよう掲示されている
 - ➡住民の困りごととしてあるのであれば、大学側にお願いしてみることもできるか(市と1層で検討)
 - ➡調査をしてどこの時間帯で混んでいくのかがわかれれば、混雑時間がわかれれば、それを住民に提示していくという方法もある
- ・住民主体で移動の支援を行っている、桜ヶ丘の移動を考える会は、現状老人クラブの送迎のみとしているが、広げることも考えている様子。百草団地も、自分たちの力で動ける方法は考えられるか。
 - ➡自治会に対して、先行事例などをまとめたプレゼンテーションを用意し、選択できると良いか
 - その中に、4輪電動自転車の体験や、シニアカーの体験などを経て何か仕組化していく方法も入れてもいいのではないか

- ・その他調査結果を受けて意見
- 買い物については、困ったらネットや宅配を利用すると答えている方が多い中、使えるか不安というのであれば、そういう講座を開くというのもありか。
- (百草団地)集会所まではなだらかなため、共同購入やマルシェのようなものが検討できないか。そこに電動車いすや4輪電動自転車の試乗なども合わせられないか。
- 合わせて他の移動補助具なども展示・体験できるといいか(協議体にはそういう企業もいる)
- 買い物の仕方としてパルシステムなどの説明会もあってもいいのではないか
- ※日野市の高幡台団地で3月に歩行補助具の体験イベントをする予定
- 4輪自転車やシニアカーをレンタサイクルのように試行できないか
- 羽田空港のロボットのように、荷物はロボット、移動は人の足のように考えるのもよいか

3, 市からの情報提供(他市の取り組みなど)

○タクシー会社:ドライバー不足もあり定期的な予約なども難しいとのこと。

○川崎市の片平「金井原苑」の取り組みを見学

- ①デイサービスの空いている車両を活用して、ボランティアがサロンへの送迎しているもの。高齢化が課題とはなっているが、仕組化されている。
- ②かきまる号(試行中)運転手も含めてタクシーを借り上げて、片平のエリアから柿生までの移動を賄っている。タクシーをバスのように使うイメージ。

4, その他

○東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター(東京都健幸長寿医療センター)植田氏より、今後の進め方について助言。

- ①乗り物から自宅が大変だというのは都市部・団地の特徴と感じた。これは新しい視点。どうあるといいのかは、場面(乗り物から自宅・バス停から目的地など)で分けて整理。
- ②手立ては、今困っていない人にどう伝えるか、今困っている人はどうサポートできるかで、分けて考える。
- ③上記の整理を踏まえて協議体・企業や団体がどういうことをやると良さそうかを提案していく。

以上